学校番号	1302

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	（学）基礎数学	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

小学校・中学校の内容の学び直しを行い、高校数学への基礎を学ぶとともに、社会生活で必要な論理的思考力や数的概念を身につけていきます。授業はモジュール授業（習熟度別少人数展開の３０分授業）で行います。先生の話を聞いて板書を書き写すだけでなく、分からないところは積極的に質問しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・基礎的な四則演算、分数、小数、割合などの計算ができるようにする。
・基本的な方程式や関数の概念を理解し、方程式を解いたり、関数のグラフの活用ができるようにする。
・基本的な図形の性質を理解し、長さや角度の大きさ、面積を求められるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
・算数や数学の知識、技術を実生活と関連づけて問題を表現し、分析、解決する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
・算数や数学の有用性に気づき、勉強の大切さに気づくようにする。
・解けなかった問題が解ける喜び、理解する楽しさを実感し、勉強する面白さに気づくようにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基礎的な四則演算、分数、小数、割合などの計算ができている。さらに、基本的な方程式や関数の概念を理解し、方程式を解いたり、関数のグラフを活用したりできる。また、基本的な図形の性質を理解し、長さや角度の大きさ、面積を求めることができる。	算数や数学の知識、技術について自分なりに考えるとともに、実生活と関連づけて問題を表現し、分析、解決することができる。	算数や数学の有用性を認識し、粘り強く学習に取り組むことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数の計算	数の計算 小数、分数の計算 割合の計算 正負の数の計算	a:基礎的な四則計算ができる。 b:計算方法を自分なりに工夫できる。 c:数学の有用性を認識し、粘り強く学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 観察
	数と式	文字式 単項式と多項式 式の展開	a:指数法則や分配法則等の基礎的な文字式の計算ができる。 b:文字式の概念を理解し、表現できる。 c:数学の有用性を認識し、粘り強く学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 観察
2学期	式の計算	展開の公式 式の因数分解	a:公式を利用して式の計算ができる。 b:公式を活用し、式を目的に応じて変形することができる。 c:数学の有用性を認識し、粘り強く学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 観察
	方程式	方程式 １次方程式 連立方程式	a:１次方程式、連立方程式の解法を理解し、解を求めることができる。 b:方程式の意味を理解し、活用できる。 c:数学の有用性を認識し、粘り強く学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 観察
	関数	関数 １次関数のグラフ	a:１次関数の性質を理解し、グラフを書くことができる。 b:関数の概念を理解し、実生活と関連づけて考察することができる。 c:数学の有用性を認識し、粘り強く学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 観察
	２次方程式	平方根 ２次方程式	a:２次方程式の解法を理解し、解を求めることができる。 b:平方根や２次方程式の意味を理解し、適切に表現できる。 c:数学の有用性を認識し、粘り強く学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 観察
3学期	平面図形	三角形と四角形 線分の比 円 図形の面積	a:基礎的な図形の性質や定理を理解し、解を求めることができる。 b:さまざまな図形について特徴を考察し、定理を活用できる。 c:数学の有用性を認識し、粘り強く学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度